

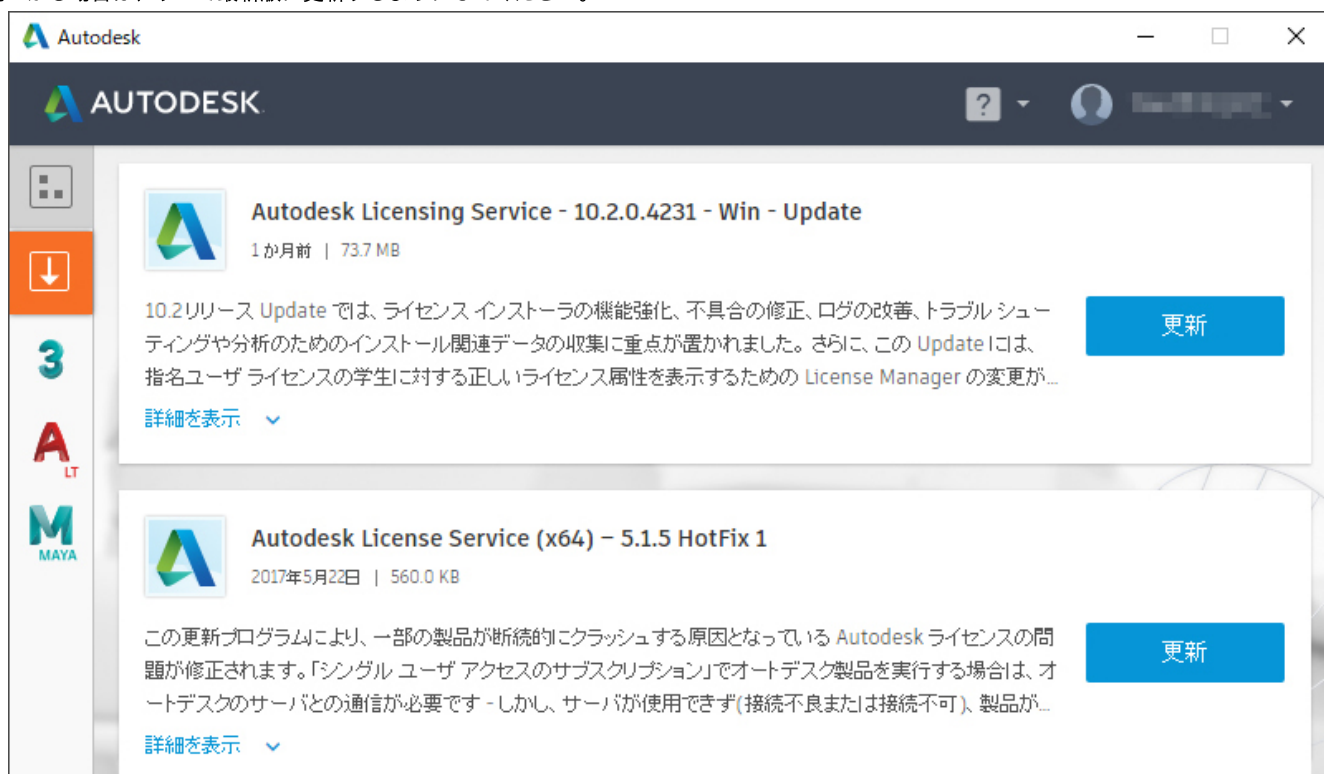
Autodeskサブスクリプションのシングルユーザーライセンスを使用するには、管理者によって承認済みのIDでサインインする必要があります。サインインすることによりインターネット経由でAutodeskのサーバーにアクセスし、ライセンスアクティベーションが行われます。

お客様のご環境により、ファイアウォール経由でのアクセスになる場合があります。その場合はサーバーとの通信が妨げられないよう、ホワイトリストの設定を行う必要があります。

ご使用のコンピュータからファイアウォールまたはプロキシサーバ経由でインターネットに接続している場合は、プロキシが下記の表で案内されているドメインに無制限および匿名でアクセスできるように設定されていることを確認してください。使用する既定のポート番号は、HTTPの場合は80、HTTPSの場合は43です。

重要な事前チェック

Autodeskデスクトップアプリ → マイアップデート で Autodesk Licensing Service や Autodesk License Service などのアップデートが見つかる場合は、すべて最新版に更新するようにしてください。



バージョン2018製品をご使用の場合は、Autodesk License Service 5.1.5 Hotfix をインストールしていることを確認してください。バージョン2016以前の製品である場合、Transport Layer Security (TLS) 1.2 が必要となります。証明書の検証サイトはすべて HTTPS ではなく HTTP を使用しています。アクセスを許可する際にはサイトのプロトコルに注意してください。HTTPS または SSL 検査を実行している場合は、ユーザ認証の確認が中断されることがあります。ドメイン *.autodesk.com の HTTPS 検査を無効にしていることを確認します。ワイルドカードを追加できない場合は、下の表にある「ログイン、ライセンス契約に基づく権利」セクションで具体的なドメインを参照してください。グループポリシーが証明書の検証チェックを妨げていないことを確認します。こちらの記事の [ルート証明書を再設定する] を参照してください。

許可する必要があるオートデスク サブスクリプション ライセンスの URL およびプロトコル リスト

青文字+グレー地の URL はサードパーティの証明書のダウンロードと検証サイト用の URL であり、*が付いた URL の下に示されるサンプルドメインです。機能を最適化するには、リスト全体をファイアウォールやプロキシサーバで許可する必要があります。

プロトコ ル	URL	目的
HTTP および HTTPS	*.autodesk.com www.autodesk.com www.autodesk.co.jp clm.clic.autodesk.com access.click.autodesk.com access.clic.autodesk.com accounts.autodesk.com api.autodesk.com cur.autodesk.com 注: Content-Type: multipart/form-data を有効にする必要があります。そうでない と、ペイロードの送信は失敗します。 registeronce.autodesk.com cdn.accounts.autodesk.com developer.api.autodesk.com	サインインとライセンスの資格
HTTP および HTTPS	js-agent.newrelic.com bam.nr-data.net	アプリケーションの監視
HTTP	urs.microsoft.com	Microsoft SmartScreen フィルタ
HTTP	ssl.google-analytics.com smetrics.autodesk.com api.demandbase.com munchkin.marketo.net 918-fod-433.mktoresp.com dpm.demdex.net autodesk.demdex.net tags.tiqcdn.com www.googletagmanager.com www.google-analytics.com	分析 www.googletagmanager.com およ び www.google-analytics.com は AdSSO 用です。
HTTP および HTTPS	cm.eversttech.net autodesk.tt.omtrdc.net	Adobe Analytics でドメイン間の訪 問者をステッチするために使用
プロトコ ル	URL	目的

HTTP

証明書のリンクの場合は、ワイルドカードとしてアスタリスクを追加します(例: *.domain)。これは、証明書ドメインには通常、時間や地域の違いによって変わるサブドメインが多数あるためです。

オートデスク以外のサイト自体の証明書の問題によって失効チェックが失敗すると、いくつかのエラーが発生します。この場合、Internet Explorer を使用して該当のサイトを開くと、警告が有効になっているかどうかをチェックできます。有効になっていない場合は、レジストリ キーを設定し、証明書の失効エラーの警告を有効にする必要があります。詳細については、「インターネット機能のコントロール (MSDN サポート記事)」を参照してください。

*.symcb.com
s1.symcb.com
s2.symcb.com
sh.symcb.com
s.symcb.com
ss.symcb.com
*.ws.symantec.com
ocsp.ws.symantec.com
crl.ws.symantec.com
*.symcd.com
sh.symcd.com
g.symcd.com
ss.symcd.com
*.geotrust.com
crl.geotrust.com
*.pki.goog
ocsp.pki.goog
*.verisign.com
*.ss2.us
x.ss2.us
*.digicert.com
crl.microsoft.com (Microsoft 証明書失効リスト)

サードパーティの証明書のダウンロードと検証サイト

プロトコル URL

目的

HTTP
および
HTTPS ipm-aem.autodesk.com

マーケティング

HTTP stats.g.doubleclick.net

AdSSO に必要

HTTP
および
HTTPS ipp.autodesk.com
gateway.bluesnap.com
nexus.ensighten.com
d1rvq4h59z7jah.cloudfront.net

製品内購入

HTTP
および
HTTPS download.autodesk.com
*.akamaiedge.net

AutoCAD シリーズ製品の認定ハードウェア リストのダウンロード
ReCap シリーズ製品の場合、サインインする際に必要です。

ライセンス サービスを問題なく動作させるために必要な最低限のオープン ポートと URL 設定

「サインインとライセンスの資格」と「サードパーティの証明書のダウンロードと検証サイト」に示されているドメインを、プロキシやファイアウォールで許可します。上記の「重要な事前チェック」で強調表示されている点も確認します。

Autodesk社によるドキュメントはこちらをご参照ください。

<https://knowledge.autodesk.com/ja/customer-service/account-management/transition-to-named-user/data-security-privacy>

<https://knowledge.autodesk.com/ja/support/autocad/learn-explore/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/What-URLs-protocols-should-be-accessible-for-Desktop-Subscription-to-work-html.html>